

●発行

(財)九州システム情報技術研究所
Institute of Systems & Information Technologies/KYUSHU
〒814 福岡市早良区百道浜2丁目1-22-707
(福岡SRPセンタービル7F)
Fukuoka SRP Center Building 7F 2-1-22,
Momochihama, Sawara-ku, Fukuoka City 814, Japan
TEL 092-852-3450 FAX 092-852-3455
URL : <http://www.k-isit.or.jp>
E-mail : koho@k-isit.or.jp
印刷: (株)ドミックスコーポレーション

定期交流会レポート

【講演会】

九州システム情報技術研究所では、2か月に1回(偶数月中旬の金曜日目途)定期交流会を開催しております。

8月23日、福岡SRPセンタービル2階SRPホールで第4回定期交流会を開催しました。



四宮光文氏

NTTマルチメディアネットワーク研究所主任研究員四宮光文氏を講師に招き、「ATMネットワークとOCN(オープンコンピュータネットワーク)」についての講演を行いました。

極めてホットな話題のため、予想を上回る150名の参加がありました。特にNTT版のインターネットと言われているOCNには、参加者の関心が集中しました。

もう少し詳しく話を聞きたかったという声もあり、質疑応答は30分以上活発に行われました。



講演会は200インチプロジェクターを使って行われました。



参加者と講師との間で活発な質疑応答が行われました。

【懇親会】

講演に続き、講師を交えた懇親会を行いました。

地場企業・福岡SRPセンタービル入居企業・ソフトリサーチパーク立地企業・大学・行政等多くの方々が出席され、講演内容はもちろん自分の日常業務や問題意識まで話が及びました。

今後ますます参加者の層が厚くなり、交流の輪が広がっていくように皆様方の申込みをお待ちしております。



懇親会にも参加者のほとんどが出席され、親睦を深められました。

研究室紹介 (第二研究室)

研究室長	荒木啓二郎 (九州大学教授)
研究員	張 漢明
研究員	山崎重一郎 (富士通研究所より出向)
研究助手	後藤 幸功 (九州大学博士課程在学中)
研究助手	章 志華 (九州工業大学博士課程在学中)
研究助手	桑山 雅行 (九州大学博士課程単位取得)

研究テーマ

1. 形式的手法に基づくソフトウェア開発法

ソフトウェア開発では、要求定義や仕様記述といった開発の上流工程が重要です。

本研究では、開発の対象となる問題をきちんと理解して、仕様をできる限り明確かつ厳密に記述するための手法を提案します。形式的仕様記述法とプロトタイプング手法や従来のシステム記述法・システム分析法とを連携した実用性の高いソフトウェア開発法を提示し、それを支援するツールを開発することを目指します。

当面は、銀行システム・業務管理システム・言語処理システムなどの具体的な問題を対象として、それらの開発に基づく実証的アプローチをとります。

2. マルチメディア通信システムと知的分散処理システム

計算機ネットワークの構築ならびに応用についての研究を行います。本研究では、最新の計算機ネットワーク技術を導入し、研究室内ネットワークの構築および管理・運用を行って、ネットワーク技術の蓄積と普及を行うとともに、独自の研究および技術開発を行います。

マルチメディア通信に対する品質(QoS: Quality of Service)に焦点をあて、遠隔会議・講義や遠隔診断などの目的や用途に応じたQoSを示して、それを保証する通信を提供するための方式の提案ならびに実装を行います。

また、電子商取引などで問題となる認証をエージェントを用いて実現したり、ネットワーク社会におけるセキュリティの問題を取扱うことを計画し、ネットワーク上の社会/経済システムの構築に向けた研究を行います。

出会い そして 活発な交流

近未来都市「シーサイドももち」のセンタービル7階に研究所をオープンして早6か月が過ぎた。ここ情報業務ゾーンの福岡ソフトリサーチパークにはセンタービルと大手コンピュータメーカーの近代ビル6棟が建設され、現在約6000人もの若い男女がいきいきと仕事をしている。研究所の窓からは博多湾に浮かぶ能古島をバックに中高層分譲マンション群が建ち並ぶ西福岡マリナタウンが望める。このマンション群が昨年開催されたユニバーシアードの選手・役員5700人の宿舎となった。選手村では、世界の若人や市民、ボランティアと様々な国際的な交流を織りなし、

柳 善博
専務理事
(事務局長)



まさしく選手村が地球村となった。選手村開村期間中21日間泊まり込みで、仕事は激務であったが、今、当時のさわやかな感動、多くの人たちとの出会いがなつかしく思い出される。

仕事はスポーツから情報関連と変わったが、産学官共同のこの研究所が発展するには、ユニバと同様にソフトリサーチパークが情報関連の企業・大学・団体の皆さんの出会い、そして活発な交流の場すなわち「情報発信村」となることが特に大切であろう。

私としても情報に懸ける千の夢「千夢一センム一専務」の実現を目指して頑張っていきたい。

ももち発見② フロムナード



今回はシーサイドももちの中央を東西に貫くフロムナード(散歩道)です。

福岡ドームから福岡市総合図書館の北側を通り室見川河口の近くまで続く土の散歩道です。道の両側には植樹・芝生やベンチがあり、車が多い表通りとは異なった静かな場所です。ドーム側には樋井川に架かる上下二段のおしゃれなふれあい橋があり、散歩や自転車で行くのに最適です。

研究所レイアウト

福岡ドームと福岡タワーの間に位置するソフトリサーチパーク福岡SRPセンタービル7階(延床面積1,020㎡)です。

9月に全国の中から快適で機能的なオフィスに与えられる「日経ニューオフィス賞九州ニューオフィス推進賞」を受賞しました。

能古島に沈む夕陽の美しさは感動的です。



●ブラウジングスペース
海を見ながらの休息や団らん



●総務部・事業部
ひとり一台パソコン(マック)を設置



●研究室

ローバーテーションで区切られた研究員のブース(手前は将来スペース)



●第1会議室(プレゼンテーションルーム)
主要会議やパソコンのデモを実施



●受付

天然木を用いた落ちついたデザイン



インターネットブームによってコンピュータネットワークが大衆化の時代を迎えました。この中で直面している最も大きな技術的壁が認証の問題です。その理由は、ネットワークでは誰かになりすましたり、架空のお店を作ったりすることが簡単にできてしまうからです。

認証というのは、実際に本人であることや真の法人であることを証明するためのシステムです。認証技術の実用化

—— 情報キーワード —— ネットワーク社会における認証

には、暗号化技術を基本にする基礎理論、認証用ソフト／ハードのツールの開発、運用や管理の方法、使い勝手の評価などいろいろな観点で研究を進める必要があります。認証技術が実際に社会システムの一部として稼働するようになってはじめて、電子マネー、電子投票、パーチ

ャルカンパニーなども現実のものになるのです。

九州システム情報技術研究所では、ネットワーク上の認証技術の研究を進めるとともに、認証サーバーの稼働などネットワーク社会の公共サービス機関としての役割を担うことも検討しています。

(山崎)



●第6回定期交流会のご案内

- 日 時 平成8年12月11日(水)午後4時～6時半
■場 所 福岡SRPセンタービル2階 視聴覚研修室
■講 師 九州システム情報技術研究所(元日立研究所研究員)
伊達 博 研究員
■テーマ『第五世代コンピュータプロジェクトに参画して』
ー並列処理技術のシステム設計への展開ー

通産省の大型プロジェクトである第五世代コンピュータプロジェクト(1982年～1993年)における研究の柱は知識処理と並列処理であり、その基本技術は現在様々な分野に応用されています。

ここでは、第五世代コンピュータプロジェクトの意義と並列処理研究、特に並列処理技術の応用研究を中心に紹介します。さらに、システム設計の観点から、その技術的成果と今後の課題についてまとめ、将来のシステム設計技術について展望します。

- 締 切 平成8年12月6日(金)
会費は懇親会費を含み2,000円です。どなたでも気軽にご参加ください。
申込みはFAXまたはE-mailで事業部までお願いします。
FAX 092-852-3455 E-mail: koryu@k-isit.or.jp 担当: 鬼木、国生

ISITホームページ公開中!

9月21日より冒頭ページのイメージを変更しています。
交流会案内等最新の情報をお届けしていきますのでご利用ください。

E-mail: webmaster@k-isit.or.jp

URL: <http://www.k-isit.or.jp/>



●新賛助会員紹介

- [法人会員] (株)アクセス、(株)ジェイワン
(財)福岡観光コンベンションビューロー
(株)コンピュータ利用技術研究所
(財)アジア太平洋センター
[個人会員] 小林一郎
法人会員50社、個人会員5名となりました。

賛助会員募集中

◎賛助会員の特典

1. 研究所主催の講演会・研究会等への参加。
2. 研究所発行の研究成果報告書・広報誌などの刊行物の配布。
3. 研究所保管の情報関係資料などの閲覧。
4. その他情報技術に関する相談、情報の供与。

◎賛助会費

年会費 ・法人会員1口 6万円
・個人会員1口 1万円

※入会手続の詳細問い合わせは、総務部へ。
TEL 092-852-3450 担当 橋本、木下

●プロジェクト推進事業のご案内

ISITでは、あなたの会社との合同プロジェクト・地域企業同志の合同プロジェクトを推進していきます。

新しい技術を要するプロジェクト・行政制度の仕組みに深く関連するプロジェクトなど、自社内だけでは進捗しづらいプロジェクトも、産学官の連携のもと地域の力を結集して取り組んでいきましょう。

プロジェクト推進事業は、お互いに協力しながら地域情報関連企業の技術力向上を目指している事業です。まず皆様との意見交換に努めていきますのでご協力をお願いします。ご意見やご相談もお待ちしております。

TEL 092-852-3460 FAX 092-852-3465

E-mail: proj@k-isit.or.jp

プロジェクト推進部 横山、山下

編集室より…第三号

某テレビ番組のインターネット特集を何気なく見ていたときのこと。
“ホームページにアクセスするにはアドレスを入力して…!?”

女子高生のチョベリバではないけれど、通訳なしには理解不能な会話のオンパレード。

自分とは当分無縁の世界だと思っていた私が当研究所で働き始めて約2か月。新聞等で多少の知識はあったものの、驚きと発見の毎日です。インターネット＝理数系＝お手上げ!という発想だった理数系アレレギーの私が、2か月間にわたるマッキントッシュとの格闘の結果、最近ではインターネットも電子メールもぐつと身近なも

のになっただけでなく、仕事でもプライベートでもしっかり(なんとか?)活用できるまでになりました。

第4回定期交流会後のアンケート結果では、今後の交流会案内方法として、電子メール希望者がFAXを抜いて最も多く、情報関連分野の勢いに改めて驚いています。

遅ればせながら、どんどん進んでいく時代の波をはるか後方からやっとな追いつき始めた私ですが、自らも学びつつ、様々な情報発信・提供をお手伝いしていきたいと思っています。(事業部 渡辺)

